

2010年度事業計画

外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業

■たぶんかフリースクール

目的

日本の中学校に入れず、学ぶ場や居場所のない子どもたち(学齢超過児と中学卒業者)や来日期間が浅く日本語の初期指導が必要な子どもたち、荒川区の小学校高学年及び中学生に対して、毎日通えて日本語と教科を勉強できる学びの場と居場所を提供する。最終的には高校進学につなげることを目的とし、外国にルーツを持つ子どもたちが教育を受ける権利を享受できる環境の実現をめざす。

事業内容

1. 開催期間：2010年4月～2011年3月（毎週3～4回 火から金）
2. 内容
 - 1) 「朝クラス」(新規)
対象：荒川区中学生 荒川区「ハートフル日本語初期指導事業(通室学習指導)」
時間：週4回 9:00～12:00 内容 日本語
 - 2) 「昼クラス 1」(新規)
対象：荒川区中学生 荒川区「ハートフル日本語初期指導事業(通室学習指導)」
時間：週4回 13:00～16:10 内容 日本語
 - 3) 「昼クラス 2」
対象：主に学校に通えない学齢超過生徒及び母国で中学を卒業した生徒
時間：週4回 13:00～16:10
内容：日本語及び教科(国語、数学、英語、理科、社会)及び居場所の提供
 - 4) 「夜クラス」
対象：小学校5年生～中学3年生
荒川区「ハートフル日本語適応指導事業(補充学習指導)」対象者を含む
時間：週4回 18:00～20:10
内容：日本語・国語及び教科(英語・数学)及び受験サポート
 - 5) 「通信制代々木高校多文化共生コース」
外国にルーツのある子どもたちで、高校中退や母国で高校1、2年生を修了者対象に、通信制高校での学習をサポートする。
 - 6) 「虹の架け橋教室事業」
対象：義務教育不就学・不登校児童・生徒(国際移住機関委託事業)
時間：週4回 13:00～16:10
内容：日本語・国語及び教科(英語・数学)

事業目標

小学校高学年、中学生、学齢超過、就学、不登校の子どもたちへの日本語及び教科学習の学習を保障するとともに、居場所としての役割も果たす。高校進学を希望する生徒には進路についてのサポートも行う。クラス平均6~8人、年間80人程度の生徒に対して日本語のサポートを行う。

また、荒川区「ハートフル日本語初期指導事業（通室）」は、区内の来日間近の生徒が「多文化共生センター東京」に通っての初期日本語指導であり、中学生に対する日本語の教材作成、及び学校への訪問、連絡、連携も行う。

■教育・進学相談

目的

外国にルーツを持つ子どものための教育・進学相談を行う。

事業内容

センター及び進路ガイダンス実施時に、年間70件程度の相談を行い、外国にルーツを持つ親子へのサポートを行う。

■子どもプロジェクト

目的

以下の2つの活動を柱とし、子どもたちへの力づけ（エンパワメント）を行っていく。

事業内容

1. ボランティアによる学習支援 土曜日：15：30~17：30
ボランティアベースでの教科と日本語の学習支援を、週1回行う。基本的にはボランティア中心の運営で、マンツーマンによる指導を行う。
2. 子どもたちの居場所づくり
学習以外でも、同じ状況の子ども同士が交流する居場所づくりを目指す。

事業目標

年間30人程度の子どもに対して、ボランティアによる教科支援と居場所づくりを行う。

■日本語を母語としない親子のための高校進学ガイダンス

目的

日本の教育事情にうとい日本語を母語としない親子のために日本の高校について、また進路・進学・教育制度全般について理解を深めてもらうことをめざす。

事業内容

東京都内で区部・市部に分け、多言語による逐次通訳の体制を組み、高校進学についての説明会と教育相談を年3回実施する。通訳は英・中・韓・スペイン・カタルーニャ語の6言語を予定。当センターの他、「カトリック東京国際センター」「多文化共生教育研究会」「CCS 世

界の子どもと手をつなぐ学生の会」「武蔵野市国際交流協会」「ピナット」で実行委員会を構成し、うち2回の事務局を当センターが担う。

事業目標

合計200名の日本語を母語としない親子に対して、進路、教育制度についての情報を提供する。ガイダンス後、個別でのフォローを実行委員会の団体が行い、高校進学までのサポートを行う。

■教育に関する調査活動とデータ作り

目的

東京都の外国にルーツを持つ子どもたちに関する教育関係のデータを作り、子どもたちの実態を明らかにする。

事業内容

「日本語を母語としない親子のための進路ガイダンス」時に協力をいただいた多言語アンケートの集計と分析、及び東京都の「学校基本調査報告」、「公立学校統計調査報告書【学校調査編】」の分析をし、資料を作成する。また、ひきつづき高校進学についてのアンケート、面接調査を行い、東京都在住の日本語を母語としない生徒の高校への進路実態を明らかにする。

■外国人の家族と子育て支援事業(ファミリーサポート事業)

目的

外国出身の親と子ども双方が、地域住民らと日本語を通して交流することで、孤立しがちな外国人親子が地域社会へ参画できるようにする。日本語教室での交流などを通じて、親子日本語の参加者や、フリースクールの保護者を中心に、生活上の様々な困難や家族の問題に対してサポートを行う。

事業内容

親子日本語クラス(交流型日本語教室) 土曜日:13:00~15:00(文化庁委託事業)

対象:外国人親※とその子ども(乳幼児~小学生)

※子どものいない外国人配偶者や、「たぶんかフリースクール」生徒の保護者など、子どもは小学生以上の親も含む

内容:生活や子育てに必要な日本語をボランティアとともに基本は1対1で学ぶ。

地域(東京都荒川区)の特性に配慮し、日本語の会話には不自由がなく、識字学習を目的とした高齢の受講者も柔軟に受け入れる。

事業目標

外国人親15人と10人程度の子ども、その他の大人10名に対して、ボランティアによる日本語支援と居場所づくりを行なう。また、交流を通じて、年間30件ほど外国人の家族の問題や子育てなどのサポートを行う。

■多文化共生のための人材育成事業

目的

多文化共生に関する研修への講師派遣、活動に関わるボランティアやフリースクール講師を対象とした研修、ボランティア講座等により、多文化共生社会を担う人材育成を行う。

事業内容

1. 講師派遣

国際交流協会や行政などが行う多文化共生関連の研修に対して30件程度の講師の派遣を行う。

2. 研修事業

「たぶんかフリースクール」講師や、当センターのボランティアを対象に研修事業を行う。

3. 多文化共生のためのボランティア講座

多文化共生センター東京の活動やボランティア活動に関心のある方を対象に、月1回程度の講座を行う。内容は基礎的な知識などを中心に行う。

4. 朝日カルチャー年少者の日本語教授法連続講座

学校や地域で日本語をサポートしている方を対象に、当センターの授業実績を基に、中学生以上の子どもの現状を概観し、効果的な教授法を学ぶ連続講座。フリースクールの講師陣によるワークショップを中心に行う。全5回の連続講座（年2回）

事業目標

年間30件の講師派遣を行う。ボランティア講座は年間で100名程度に対しての講座を行う。

■多文化共生に関する情報提供事業

目的

活動と理念に対しての認知を高め、多くの方に賛同・支援をいただくため、ニュースレター、Web/メルマガなどの媒体を使用し、広報活動を行う。当センターの活動と共に日本で暮らす外国人の現状や多文化共生への関心を社会に広める。

事業内容

1. 多言語情報提供

当センターで作成した多言語情報など、外国人にとって必要な情報を多言語で提供する。とくにwebサイトについては、日本語版の大改訂を行った後に多言語化を実施し、関連する団体などとのリンクを充実させる。

2. ニュースレター(みんぐる)

当センターの活動報告を中心に、多文化共生に関するテーマの広報誌を発行する。

3. Web/ブログ

活動の報告、多言語での情報提供などをブログなども活用しつつweb上で行う。「たぶんかフリースクール」ブログについては、多文化共生センター東京全体のブログに発展させる。

4. メールマガジン(多文化 NEWS from Tokyo)

外国人関係ニュース、イベント、当センターの活動内容などをメルマガで配信する。

5. メールングリスト(多文化だより)

活動内容を報告する会員向けメルマガをML上に流しMLの活性化を図る。

事業目標

ニュースレターについては年4回、メールマガジンと「多文化だより」については原則毎月の刊行を行う。多文化共生センター東京全体のブログについては、広報ボランティアの協力も得ながら毎週の記事更新(追加)を目標とする。

Webサイトのリニューアルと多言語化は、2010年8月末までに実施したい。

2010年度予算案

2010年度 特定非営利活動にかかる事業会計収支予算書

2010年 4月 1日から 2011年 3月 31日まで

特定非営利活動法人多文化共生センター東京

(単位：円)

科 目	金 額	
I 収入の部		
1 会費・入会金収入 会費収入	1,300,000	1,300,000
2 事業収入 外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業 生活相談等による外国人の家族と子育て支援事業 多文化共生のための人材育成事業 多文化共生に関する情報提供事業	16,000,000 1,200,000 3,000,000 400,000	20,600,000
3 補助金等収入 民間助成金収入	1,800,000	1,800,000
4 寄附金収入 一般寄付金 事業指定寄付金	1,500,000 3,000,000	4,500,000
当期収入合計		28,200,000
前期繰越額		7,326,413
収 入 合 計		35,526,413
II 支出の部		
1 事業費 外国にルーツを持つ子どもたちのための教育事業 生活相談等による外国人の家族と子育て支援事業 多文化共生のための人材育成事業 多文化共生に関する情報提供事業	18,000,000 1,200,000 3,000,000 1,200,000	23,400,000
2 管理費 事務局給料手当 法廷福利費 通信運搬費 光熱水費 旅費交通費 備品消耗品費 租税公課 減価償却費 その他管理費	2,500,000 900,000 120,000 250,000 50,000 200,000 200,000 200,000 200,000	4,620,000
当期支出合計		28,020,000
当期収支差額		180,000
次期繰越収支差額		7,506,413

2010 年度役員

代表理事	王 慧椏
専務理事	柴山 智帆
専務理事	飯田 秀夫
理事	李 炫澈
理事	鈴木 江理子
理事	田中 阿貴
理事	田村 太郎
理事	原田 麻里子
理事	福田 和久
理事	山田 尚子
理事	栢木 典子
理事	松尾 沢子
理事	風間 晃

監事	小林 千春
----	-------